

作成日 平成 24 年 4 月 12 日

改訂日 令和 4 年 5 月 16 日

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	ライトクリスタルHN
製品整理番号	BA115
供給者の会社名称	株式会社ウォーターエージェンシー
住 所	162-0813 東京都新宿区東五軒町 3 番 25 号
担当部門	ケミカルサービス事業本部
TEL	03-3267-4073
FAX	03-3267-4106
緊急連絡電話番号	同 上
推奨用途および使用上の制限	工業用薬剤

2. 危険有害性の要約

化学品の GHS 分類

物理化学的危険性	爆発物	区分に該当しない
	可燃性ガス	区分に該当しない
	エアゾール	区分に該当しない
	酸化性ガス	区分に該当しない
	高压ガス	区分に該当しない
	引火性液体	区分に該当しない
	可燃性固体	区分に該当しない
	自己反応性化学品	区分に該当しない
	自然発火性液体	区分に該当しない
	自然発火性固体	区分に該当しない
	自己発熱性化学品	区分に該当しない
	水反応可燃性化学品	区分に該当しない
	酸化性液体	区分に該当しない
	酸化性固体	分類できない
	有機過酸化物	区分に該当しない
	金属腐食性化学品	分類できない
	鈍性化爆発物	分類できない
健康に対する有害性	急性毒性(経口)	分類できない
	急性毒性(経皮)	分類できない
	急性毒性(吸入:気体)	区分に該当しない
	急性毒性(吸入:蒸気)	区分に該当しない
	急性毒性(吸入:粉塵)	分類できない
	急性毒性(吸入:ミスト)	区分に該当しない
	皮膚腐食性/刺激性	分類できない
	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	分類できない
	呼吸器感作性	分類できない
	皮膚感作性	分類できない
	生殖細胞変異原性	区分に該当しない
	発がん性	区分に該当しない
	生殖毒性	分類できない
	特定標的臓器毒性(単回ばく露)	区分に該当しない
	特定標的臓器毒性(反復ばく露)	区分に該当しない
	誤えん有害性	分類できない
環境に対する有害性	水生環境有害性 短期(急性)	分類できない
	水生環境有害性 長期(慢性)	分類できない
	オゾン層への有害性	分類できない

GHSラベル要素
絵表示又はシンボル



注意喚起語
危険有害性情報

警告
呼吸器系の障害
長期にわたる、又は反復ばく露による呼吸器系の障害(じん肺)のおそれ

注意書き

<安全対策>

- ・全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
- ・保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面等を着用すること。
- ・屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。
- ・この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
- ・粉じんを吸入しないこと。
- ・取扱い後は手をよく洗うこと。
- ・環境への放出を避けること。

<応急措置>

- ・吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時は、医師の診察、手当てを受けること。
- ・飲み込んだ場合: 口をよくすすぐこと。気分が悪い時は、医師の診察、手当てを受けること。
- ・眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。眼の刺激が続く場合、医師の診察、手当てを受けること。
- ・皮膚に付着した場合: 多量の水で洗うこと。
- ・ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師に連絡すること。気分が悪い時は、医師の診察、手当てを受けること。
- ・施錠して保管すること。
- ・換気の良い場所で保管すること。
- ・容器を密閉しておくこと。
- ・内容物及び容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託して廃棄すること。

<保管>

<廃棄>

3. 組成及び成分情報

化学物資・混合物の区別	単一製品
化学名又は一般名	天然ケイ酸アルミニウム
化学物質を特定できる一般的な番号	なし
化学式	非開示
成分及び濃度又は濃度範囲	SiO ₂ :60~80%, Al ₂ O ₃ :10~20%, Fe ₂ O ₃ :1~3%, MgO:1~5%, CaO:1~3%, Na ₂ O+K ₂ O:1%以下, Ig. Loss:5~10%
官報公示整理番号(化審法)	なし
(安衛法)	なし

4. 応急措置

吸入した場合	直ちに新鮮な空気環境下に移し、鼻をかませ、うがいさせる。
皮膚に付着した場合	直ちに多量の水で十分に洗い流す。
眼に入った場合	直ちに流水で10~15分以上の洗眼をした後、必ず医師の処置を受ける。洗眼には必ず常温で清潔な流水を使用し、眼球と瞼の裏を洗浄する。眼を擦ったり、強く眼を閉じたりさせない。コンタクトレンズ着用者は容易に外せる場合は外し、洗眼すること。
飲み込んだ場合	直ちに口内を水でよくすすぐ。気分が悪い時は、医師の診断を受けること。
急性症状及び遅発性症状並びに最も重要な兆候及び症状	粉じんを長時間吸入すると、じん肺になるおそれがある。
応急措置をする者の保護に必要な注意事項	粉じんを吸入しないようにマスク、皮膚や眼に接触しないように手袋、ゴーグル等の保護具を着用する。
医師に対する特別な注意事項	特になし。

5. 火災時の措置

適切な消火剤	粉末消火剤、水噴霧、泡消火剤
使ってはならない消火剤	知見なし。
火災時の特有の危険有害性	火災によって刺激性、有毒及び／又は腐食性のガスを発生するおそれがある。
特有の消火方法	不燃性のため自然性のおそれはないが、万一火災になった場合は火元への燃焼源を断ち、水等消火器を使用して消火する。
消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置	毒性、有害性物質の発生はないが、保護具を着用し、温度上昇による火傷に注意して消火活動をする。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	作業時は必ず呼吸器用保護具、保護メガネ及び保護手袋等を着用する。
環境に対する注意事項	公共用水域に流さないように留意する。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	多量の場合、スコップ等を使用して集じんし、コンテナ等に入れる。少量の場合、真空掃除機等を利用して吸引集じんする。
二次災害の防止策	貯蔵・取扱いの場所の床面はひび割れ等がないようにし、荷崩れによる製品漏出を防ぐこと。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策	労働安全衛生法等の関連法規に準拠して作業する。防じんのための呼吸器保護具、保護メガネ及び保護手袋等の適切な保護具を着用する。 屋内作業の場合は適切な集じん装置を設け、管理濃度以下に保つ。漏れ、あふれ、飛散等しないようにし、みだりに粉じんを発生させない。
局所排気・全体換気	必要に応じて全体換気、局所排気を行う。
安全取扱注意事項	不燃性であるが、裸火等の非常に高温にさらさない。 長時間の高温接触では包装容器の強度劣化が生じる。 包装容器は必要な時のみ開封し、常時密閉にしておく。開封後は吸湿性に富むため、速やかに使用する。 包装容器を転倒させ、衝撃を加え、又は引きずる等の粗暴な取扱いをしない。 『10. 安定性及び反応性』を参照。
接触回避	取扱い後はよく手を洗うこと。
衛生対策	
保管	
安全な保管条件	屋内で保管し、雨濡れ、湿気の多い場所を避ける。 床面等は万一漏洩が生じても公共用水域への流出及び地下への浸透が起こらないようにする。 開封後の保管は、空気にできるだけさらさないように密閉する。
安全な容器包装材料	ポリエチレン、ポリプロピレンなど。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度	0.572mg/m ³ (遊離けい酸濃度 3.57%の場合) $E=3.0/(1.19 \times Q+1)$ E:管理濃度(mg/m ³) Q:当該粉じんの遊離けい酸含有率(%)
許容濃度	
日本産業衛生学会(2020年度版)	第2種粉塵 吸入性粉塵 1mg/m ³ , 総粉塵 4mg/m ³
ACGIH(2013年度版)	設定されていない。
設備対策	粉じんが発生する場合は、局所排気装置を設置する。取扱い場所の近くに、安全シャワー、手洗い及び洗眼設備等を必要に応じて設置する。
保護具	呼吸用保護具:防じんマスク等を着用する。 手の保護具:ゴム手袋等を着用する。 眼、顔面の保護具:ゴーグル型保護眼鏡等を着用する。 皮膚及び身体の保護具:状況に応じてゴム長靴や前掛け等を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	粉末
色	蛍白色
臭い	無臭
融点／凝固点	データなし
沸点又は初留点及び沸点範囲	データなし
可燃性	データなし
爆発下限界及び爆発上限界／ 可燃限界	データなし
引火点	データなし
自然発火点	データなし
分解温度	データなし
pH	5～8
動粘性率	データなし
溶解度	水に対して不溶
n-オクタノール／水分配係数(log 値)	データなし
蒸気圧	データなし
密度及び／又は相対密度	2.2～2.6 (真比重)
相対ガス密度	データなし
粒子特性	データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	知見なし。
化学的安定性	通常の取扱い条件においては安定である。
危険有害反応可能性	知見なし。
避けるべき条件	湿気
混触危険物質	知見なし。
危険有害な分解生成物	知見なし。

11. 有害性情報

急性毒性	経口：データ不足のため、分類できない。 経皮：データ不足のため、分類できない。 吸入(気体)：区分に該当しない。 吸入(蒸気)：区分に該当しない。 吸入(粉塵)：データ不足のため、分類できない。 吸入(ミスト)：区分に該当しない。
皮膚腐食性／刺激性	データ不足のため、分類できない。
眼に対する重篤な損傷性 ／眼刺激性	データ不足のため、分類できない。
呼吸器感受性又は皮膚感受性	データ不足のため、分類できない。
生殖細胞変異原性	区分に該当しない。
発がん性	区分に該当しない。
生殖毒性	データ不足のため、分類できない。
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	区分に該当しない。
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	区分に該当しない。
誤えん有害性	データ不足のため、分類できない。

12. 環境影響情報

生態毒性	
水生環境有害性 短期(急性)	データ不足のため、分類できない。
水生環境有害性 長期(慢性)	データ不足のため、分類できない。
残留性・分解性	データなし。
生体蓄積性	データなし。
土壌中の移動性	データなし。
オゾン層への有害性	データなし。

13. 廃棄上の注意

化学品(残余廃棄物)、当該化学品が付着している汚染容器及び包装の安全で、かつ環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報

廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合には、そこに委託して処理する。

容器は清浄してリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

国際規制

海上規制情報

非該当

航空規制情報

非該当

国内規制

陸上規制情報

非該当

海上規制情報

非該当

航空規制情報

航空法に該当する場合は定められている運送方法に従う。

輸送又は輸送手段に関する特別な安全対策

輸送に際しては、直射日光、水濡れ、湿気、熱を避け、容器の破損、漏れのないように積み込み、輸送中での荷崩れの防止を確実にを行う。

粗暴に取り扱わない。

荷崩れ、落下などに注意する。

容器が破損しないように注意する。

雨水等による容器内への浸水厳禁。

緊急時対応措置指針

なし

15. 適用法令

労働安全衛生法

非該当

毒物及び劇物取締法

非該当

化学物質排出把握管理促進法

非該当

消防法

非該当

粉じん障害防止規則

別表第1 第11号

16. その他の情報

・参考文献

独立行政法人 製品評価技術基盤機構(NITE)

JIS Z 7253 GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法ーラベル、作業場内の表示および安全データシート(SDS)

化学品の分類および表示に関する世界調和システム(GHS)

日本産業衛生学会「許容濃度の勧告」

・記載内容の取扱い

全ての資料や文献を調査した訳ではないため、情報洩れがあるかも知れません。また、新しい知見の発表や従来の説の訂正により内容に変更が生じることがあります。

重要な決定等にご利用される場合は、試験によって確かめられる事をお薦めします。なお、含有量、物理化学的性質等の数値は保証値ではありません。また、注意事項は、推奨用途上の通常的な取扱いを対象としたものなので、推奨用途から外れる特殊な取扱いの場合には、この点にご配慮をお願いします。

・問合せ先

担当部門 ケミカルサービス事業本部

電話番号 03-3267-4073 FAX 番号 03-3267-4106